

間もなく東日本大震災から1年が経ちます。高砂コンテナターミナルも発災直後から見違えるように復旧しております。

仙台国際貿易港首都圏セミナー開催

ご来場ありがとうございました

平成24年2月10日東京都内のホテルにて仙台国際貿易港首都圏セミナーを開催し、約500名のお客様にご来場いただきました。

セミナーでは、荷主企業の講演として、(株)オーヤマの尾形様より「アイリスオーヤマの仙台塩釜港を活用した物流戦略」と題して45フィートコンテナラウンドユース構想等の物流戦略について御講演をいただきました。その他、宮城県土木部長により、復旧状況と今後の取組方針について説明しました。

参加者の意見(アンケートより抜粋)

- 多くの方が参加しており、仙台港の力強さを感じるセミナーであった。(物流N社)
- 防潮堤等の津波対策についてよくわかった。(製造業O社)
- 着実に復旧していることがわかり、安心した。(物流T社)
- 荷主企業による講演は、コンテナラウンドユース構想等とても興味深い内容の講演であった。(製造業J社)
- 他社の物流について聴講できる貴重な機会であり、大変参考となった。(製造業E社)
- 荷主目線での物流コスト低減の取り組みについて直接拝聴できるのは良い機会であった。(物流S社)



(株)オーヤマ尾形氏による講演



宮城県土木部長による講演



セミナーの様子



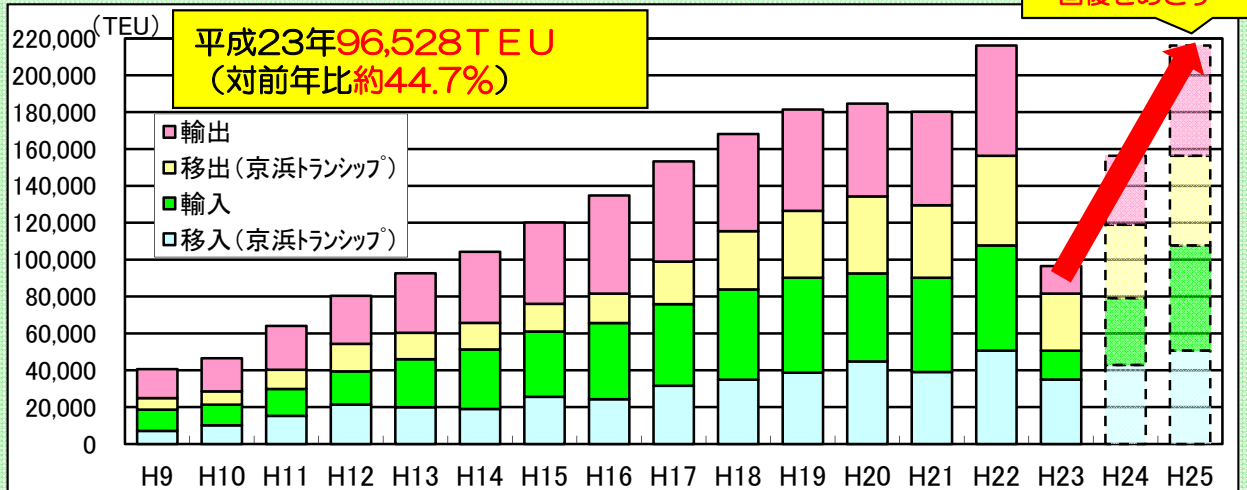
レセプションの様子

平成23年コンテナ貨物取扱量（速報）

平成23年コンテナ貨物取扱量（速報）がまとまりました。下のグラフのとおり、年間取扱量は対前年比約44%の約97,000TEUと平成13年並みとなっておりますが、仕向仕出地の数は前年を若干下回る程度で**世界85か国、230港以上との間で輸出入がなされました。**

品種別の取扱量は下の表をご覧ください。例年と同様の傾向を示しております。なお、年間取扱量は大幅に減少しておりますが、**12月単月では対前年比約72%の約13,000TEU**と順調に回復しております。3年以内に震災前の水準まで回復することを目標とし、今後も積極的にポートセールスを展開します。

年別コンテナ貨物取扱量



平成23年品種別構成（上位5品種）

※カッコ内数値は平成22年実績

	輸移出	取扱量(TEU)	輸移入	取扱量(TEU)
1	ゴム製品	20,276.25 (34,895)	製材	4,918.25 (8,391)
2	紙・パルプ	4,739 (17,793)	木製品	3,053 (5,684)
3	水産品	1,884 (6,828)	動植物性製造飼肥料	2,006 (4,829)
4	再利用資材	1,423 (6,418)	染料・塗料・合成樹脂等	1,822 (2,679)
5	自動車部品	1,423 (4,514)	自動車部品	1,808 (3,613)

※小数点以下の数値は45フィートコンテナの取扱いによるものです。

ますます便利に 小口混載貨物便（LCL）サービス

お客様のニーズに合わせたサービスを提供します

- 香港発→仙台着輸入貨物のLCLサービスが開始されました。香港から仙台まで一貫輸送し、これまでより輸送日数が大幅に短縮されます。（他社通常15日→8日）

◎お問い合わせ先

日本通運(株)海運事業部混載センター 03-5434-0224

塩竈港運送(株)国際コンテナ支店コンテナ営業課 022-259-9847

- 日本通運(株)のNVOCCサービスに加えて、セイノーロジックス(株)によるLCLサービスが再開されました。京浜地区まで陸送せずに、最寄りの仙台塩釜港より世界各国へ輸出可能です。

◎お問い合わせ先

セイノーロジックス(株)→三陸運輸(株)コンテナ営業課 022-361-1923

日本通運(株)→塩竈港運送(株)国際コンテナ支店コンテナ営業課 022-259-9847

<この記事に関するお問い合わせ>

宮城県土木部港湾課振興班 仙台市青葉区本町3-8-1

Tel: 022 (211) 3221 メール:kousin@pref.miyagi.jp <http://www.pref.miyagi.jp/kouwan/>

